

李 洙任教授略歴および業績目録

学 歴

- 1971 年 3 月 大谷高等学校卒業
 1971 年 4 月 同志社大学商学部入学
 1975 年 3 月 同志社大学商学部卒業
 1975 年 9 月 University of California, College of Letters and Science, Los Angeles (UCLA) One-Year Specialized Course of Post Graduate Studies, Department of English (Teaching Certificate Program, Graduate School)
 1976 年 6 月 同上 Certificate in the Teaching of English as a Second Language 取得
 1976 年 9 月 Boston State College, Master's Program, Bilingual and Multicultural Education Program, Matriculated
 1978 年 6 月 Boston State College, Master of Education
 1996 年12月 Temple University, Education, Curriculum, Instruction and Technology in Education, Ed. D. Program, Matriculated
 2002 年 1 月 Temple University, College of Education, Department of Curriculum, Instruction and Technology in Education, Doctor of Education Degree with Specialization in Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL), Doctor of Education

職 歴

- 1975 年 9 月～1976 年 6 月 ダスキン株式会社アメリカ支部 通訳・翻訳・マーケティング
 1977 年 9 月～1979 年 6 月 フリーランス通訳 NHK ドキュメンタリープログラム制作・通訳
 JETRO 市場調査等に従事
 1977 年 9 月～1980 年 1 月 In-Lingua, Boston School of Modern Languages 英語教師, 日本語教師
 1980 年 12 月～1996 年 3 月 NCB 英会話教習所 (言語学研究所所長, San Diego State University と共同プロジェクトとしてカリキュラムデザイン・教員研修・教科書出版等に従事)
 1986 年 4 月～2001 年 3 月 大阪女学院短期大学非常勤講師
 1996 年 4 月～2002 年 3 月 31 日 龍谷大学経営学部助教授
 2002 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日 龍谷大学経営学部教授

学内行政 (以下を歴任)

- 英語科目委員会委員長
 龍谷大学教職員組合執行副委員長
 龍谷大学京都産業学評議員
 龍谷大学京都産業学編集委員長
 英語科目運営委員

留学生別科運営委員
学部評価委員会委員

社会活動（以下を歴任）

総務省 外国人台帳制度に関する懇談会有識者委員
大阪府国民保護協議会委員
大阪市外国籍住民施策有識者会議座長代理・委員
大阪市国民保護協議会有識者委員
大阪市地域福祉推進委員会委員
堺市人権施策推進審議会委員
尼崎市人権教育・啓発推進懇話会委員
大阪市西成区人権啓発・教育企画会議委員
大阪市，尼崎市，大阪市教員委員会の人権研修講師
中学校，高校，大学，学生対象の人権研修講師
大学入試センター委員

海外での研究活動（2003年8月1日～2004年7月31日）

Stanford University, Comparative Studies in Race and Ethnicity, Research Fellow

Harvard University, The Edwin O. Reischauer Institute of Japanese Studies, Visiting Scholar

所属学会等

Asia TEFL 2006年度，第4回国際大会実行副委員長，2007年，2008年度，External Affairs Director
日本言語テスト学会 2006年度，第10回 JLTA 全国研究大会実行委員長，於龍谷大学
異文化コミュニケーション学会（SEITAR, JAPAN）
日本教育経営学会，The Comparative and International Education Society（CIES）
日本移民学会，The Association for Asian Studies（AAS）
多文化関係学会（2009年度，理事）
（財）世界人権問題研究センター研究員，現在登録研究員

賞 罰

2007年6月	English Testing Service（ETS）により Global Scholar に選出
2008年9月	国際文化会館，Japan Foundation により，2008年度 Asia Leadership Fellow Program における日本代表に選出
2021年3月	社団法人安重根義士崇慕会から龍谷大学社会科学研究所付属機関安重根東洋平和研 究センターに（センター長：李洙任）「安重根国際平和賞」
2021年3月	龍谷大学学修支援・教育開発センター長賞

主な学外研究費

1. Grant from Harvard University, Edwin O. Reischauer Institute of Japanese Studies, Grant for Collabora-

tive Work in Japanese Studies

研究課題：Naturalization Policy in Japan

期間：2003年9月1日～2004年8月31日

研究代表者：李洙任 (Soo im Lee)

共同研究者：Akira Iriye (Harvard University), Thomas Berger (Boston University), Jeff Bayliss (Harvard University), Alexis Dudden (Connecticut College), Sarah Sakhaee Kashani (Harvard University), Jason Fann (Harvard University)

2. Grant from Stanford University, the Center for East Asian Studies

研究課題：Globalization at home

期間：2003年9月1日～2004年8月31日

研究代表者：Befu Harumi (Stanford University)

研究分担者：李洙任 (Soo im Lee), Stephen Murphy-Shigemitsu (Tokyo University)

3. 科学研究費補助金 基盤研究 (C)

研究課題：外国語教育におけるテスト等化の重要性とその方法－テスト妥当性研究の一環として

期間：2005年4月1日～2007年3月31日

研究代表者：吉澤清美 (関西大学)

研究分担者：李洙任

4. 科学研究費補助金 基盤研究 (C)

研究課題：在日韓国、朝鮮人の経済活動

期間：2006年4月1日～2008年3月31日

研究代表者：李洙任

研究分担者：中村尚司 (龍谷大学), 田中宏 (龍谷大学), 木村健二 (下関市立大学), 朴一 (大阪市立大学), WILLIS David Blake (相愛大学)

5. 科学研究費補助金 基盤研究 (C)

研究課題：日本の移民政策に連動する帰化制度のあり方

期間：2009年4月1日～2011年3月31日

研究代表者：李洙任

6. 科学研究費補助金 基盤研究 (C)

研究課題：他者への共感力を高める英語教育：学習者の積極的関与を目指して

期間：2015年4月1日～2018年3月31日

研究代表者：李洙任

7. 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究

研究課題：Diversity Factors in Leadership

期間：2014年4月1日～2017年3月31日

研究代表者：Rogers Lisa (同志社女子大学)

研究分担者：李洙任

その他の助成受託実績

1. 奨学寄附金, ワンアジア財団 (現ユーラシア財団)

2015年, 2016年, 2017年, 2018年, 2019年, 2020年

助成に基づき教養科目特別講座「東アジアの未来；アジア共同体の創成に向けての国民国家を超えたグローバル観」を重本直利経営学部教授（当時）と企画し、龍谷大学教養科目社会系教員の支援を受け開講。履修生の累積数は約 800 人。

2021 年から奥野恒久教授（政策学部）、中田裕子准教授（農学部）が「東アジアの未来 龍谷大学からアジアの平和を構想する」として継承する。

2. 企業受託研究、国際ビジネスコミュニケーション

期 間：2003 年 4 月 1 日～2004 年 3 月 31 日

研究課題：The appropriateness of TOEIC for discriminating high and low language proficiency learners；the characteristics observed in a domain-reference test

研究代表者：李洙任

研究分担者：吉澤清美（関西大学）、嶋林昭治（龍谷大学）、角岡賢一（龍谷大学）

研究教育業績（最新順）

著書

〈単著〉

李洙任『奪われた在日コリアンの日本国籍——日本の移民政策を考える』明石書店、2021 年 3 月 15 日。

李洙任『国連英検 A・B 級必修単語 1000』NCB 英会話教習所（編）、NCB UNATE ANALYSIS TEAM（協力）、三修社、2005 年 2 月 25 日。

李洙任『国連英検 B 級突破』NCB 英会話教習所（編）、NCB UNATE ANALYSIS TEAM（協力）、三修社、2003 年 2 月 5 日。

Lee, S. (2002) *Redefining Motivation and Language Anxiety: an Empirical Validation of Psycho-educational Models in an EFL context*, Michigan: UMI Dissertation Publishing, Dissertation Abstract International 63-01 A, No.30-40335.

李洙任『国連英検 C 級突破』NCB 英会話教習所（編）、NCB UNATE ANALYSIS TEAM（改定）、三修社、1999 年 11 月 15 日。

〈編著、共編著〉

Lisa Rogers, Julia K. Harper, Donna Fujimoto, Soo im Lee (Eds.) (2017) *Readings on Diversity Issues: From Hate Speech to Identity and Privilege in Japan*, Living within Diversity Special Interest Group, Lulu. com.

李洙任・重本直利（共編著）『共同研究 安重根と東洋平和——東アジアの歴史をめぐる越境的対話』（龍谷大学社会科学研究所叢書第 116 巻）、2017 年 3 月 24 日。

李洙任・八幡耕一（共編著）『植民地支配と紛争解決にむけての対話——東アジアの相互理解のために』龍谷大学アフラシア多文化社会研究センター、2013 年 3 月 25 日。

李洙任・重本直利（共編著）『日本と朝鮮半島との和解の道を探る！』安重根東洋平和研究会「韓国併合」100 年市民ネットワーク、2013 年 3 月 9 日。

李洙任（編著）河明生、木村健二、田中宏、中村尚司、朴一『在日コリアンの経済活動——移住労働者、起業家の過去・現在・未来』不二出版、2012 年 2 月 2 日。

Lee, S., Murphy-Shigematsu, S., & Befu, H. (Eds.) (2006). *Japan's Diversity Dilemmas: Ethnicity, Citi-*

zenship, and Education, NE: iUniverse.

李洙任（監著）嶋林昭治，角岡賢一共著『TOEIC Test スキルアップ リスニング編』郁文堂，2004年11月。

〈共著〉

李洙任「アジア隣国との共存・共生を目指して」『安重根・「東洋平和論」研究 21世紀の東アジアをひらく思想と行動』龍谷大学社会科学研究所附属安重根東洋平和研究センター・李洙任教授退職記念刊行委員会編集，明石書店，2021年12月，313-338頁。

李洙任「在日コリアンの歴史的変遷と生存のための経済戦略」『日本人と海外移住——移民の歴史・現状・展望』日本移民学会（編集），明石書店，2018年4月30日，240-262頁。

李洙任「コリア系日本人の再定義—「帰化」制度の歴史的課題」佐々木てる，駒井洋（監修）『マルチ・エスニック・ジャパニーズ——〇〇系日本人の変革力』（移民・ディアスポラ研究5），明石書店，2016年6月，108-129頁。

Lee, S. (2015). Myths, Beliefs, and Implications of Japan's Naturalization Policy, In S. R. Nagy (Ed.), *Japan's Demographic Revival: Rethinking Migration, Identity and Sociocultural Norms*, Singapore: World Scientific Pub Co Inc., pp.41-61.

Lee, S. (2014). Diversity of Zainichi Koreans and their Ties to Japan and Korea, Japan, In L. N. Yu Jose, J. O. Zulueta (Eds.), *Japan: Migration and a Multicultural Society*, Manila: Ateneo De Manila University, pp.20-35.

Lee, S., & Rogers, L. 『Culture and Conflict: Changing the World for the Better／文化と衝突——多文化共生のために』松柏社，2014年4月5日。

李洙任「トルコ——EU労働市場を見据える英語教育」矢野安剛，本名信行，木村松雄，木下正義（編集）『英語教育体系 第2巻 英語教育政策——世界の言語教育政策論をめぐって』大修館書店，2011年7月1日，120-135頁。

李洙任「イラン——「文明の対話」を促進するための英語教育」矢野安剛，本名信行，木村松雄，木下正義（編集）『英語教育体系 第2巻 英語教育政策——世界の言語教育政策論をめぐって』大修館書店，2011年7月1日，135-148頁。

李洙任「京都の伝統産業に携わった朝鮮人移民の労働観」龍谷大学大学院経営学研究科附置機関京都産業学センター「京都産業学を創る」編集委員会（編集）『京都産業学を創る』晃洋書房，2011年2月，196-214頁。

Willis, D. B. & Lee, S. (2007). Korean Minority Entrepreneurs in Japan, In L. P. Dana (Ed.), *Handbook of Research on Ethnic Minority Entrepreneurs, A Co-evolutionary View on Resource Management*, Edward Elgar Publishing, UK: pp.653-668.

李洙任・田中宏『グローバル時代の日本社会と国籍』明石書店，2007年5月。

Lee, S. (2002). Koreans-A Mistreated Minority in Japan: Hopes and Challenges for Japan's true internationalization, In T. R. Donahue (Ed.), *Exploring Japaneseness: On Japanese Enactments of Culture and Consciousness*, Connecticut: Ablex Publishing, pp.183-195.

李洙任「帰化行政に見られる日本政府の韓国・朝鮮人処遇対策」戸上宗賢（編著）『交錯する国家・民族・宗教—移民の社会適応』龍谷大学社会科学研究所叢書第45号，不二出版，2001年3月。

論説

- Lee, S. Chosen-seki as Stateless Residents : Is Their Social Integration in Japan Possible?, *FOCUS*, June 2021 Volume 104 ヒューライツ大阪, <https://www.hurights.or.jp/archives/focus/section3/2021/06/chosen-seki-as-stateless-residents-is-their-social-integration-in-japan-possible.html>, 2021 年 6 月。
- Lisa Rogers & Soo im Lee. Diversity in Leadership Development : A Case Study of Japanese Young People's Attitudes Towards Diversity and Uncertainty Avoidance『現代社会フォーラム』第 13 巻, 同志社女子大学現代社会学会, 2017 年 3 月, 39-53 頁。
- 李洙任「安重根の遺墨と和解に向けての越境的対話」『社会科学研究年報』第 46 号, 2016 年 5 月, 129-139 頁。
- 李洙任・牧野英二・田中宏「日本の応答責任を果たすために——東洋平和を願った安重根の実像を知る」『社会科学研究年報』第 45 号, 龍谷大学社会科学研究所, 2015 年 5 月, 207-223 頁。
- 李洙任「市民運動の連帯, 日本から世界へ, 世界から日本へ——国際民主法律家協会大会参加とアウシュヴィッツ訪問から学んだこと」『アジェンダ』(未来への課題 特集: 国家主義の台頭に抗して) 第 45 号, 2014 年夏号, アジェンダ・プロジェクト, 66-75 頁。
- 李洙任「日本の帰化行政とインターネット情報の影響: 行政書士への調査を中心に」, 『研究紀要』第 19 号, 世界人権問題センター, 2014 年 4 月, 161-185 頁。
- Lee, S. (2014). Under-targeted and missed opportunities : An analysis of Japan's points-based preferential immigration system in the treatment of highly skilled foreign professionals『社会科学研究年報』第 44 号, 龍谷大学社会科学研究所, 2014 年 5 月, 145-160 頁。
- 李洙任「日本の外国人政策と多文化共生の実態」『社会科学研究年報』第 43 号, 龍谷大学社会科学研究所, 2013 年 5 月, 197-208 頁。
- 李洙任「日本の帰化行政の現状から見えるもの」『国際人権ひろば』No.102, 2012 年 3 月。
- 李洙任「日本の外国人労働者を取り巻く雇用システムの光と闇——社会統合・労働統合から見た異文化経営における課題」『龍谷大学 経営学論集 本田英夫教授退職記念号』第 50 巻, 第 4 号, 龍谷大学経営学会, 2011 年 3 月, 64-81 頁。
- 李洙任「日本企業における『ダイバーシティ・マネジメント』の可能性と今後の課題——『外国人材』活用の現状と問題点を通して」『龍谷大学 経営学論集』第 49 巻, 第 4 号, 龍谷大学経営学会, 2010 年 3 月, 68-82 頁。
- 李洙任「新たな在留管理制度関連法案, 「管理」それとも「共生」? 外国人労働者に与える影響」『民主法律 2010 年権利論集特集号』280 号, 民主法律協会, 2010 年 2 月, 152-155 頁。
- Lee, Soo im & Willis, David Blake (2009). *Beyond Ethnicity and Nationality, Korean Schools in Japan : Cultural Discourses of "homeland" and "Host", Multicultural Relations*, Vol.6, Japan Society for Multicultural Relations, pp.85-98.
- 李洙任「日本における多文化共生の実態」『龍谷大学経済学論集』第 49 巻第 1 号, 龍谷大学経済学会, 2009 年 9 月, 303-318 頁。
- Lee, S. (2009). The Oscillation between Multiculturalism and Homogeneity in Japan, *Asia Leadership Fellow Program 2008 PROGRAM REPORT, Unity and Diversity : Democratic Dimensions*, International House of Japan and Japan Foundation, pp.37-45.
- 李洙任「英語の新しい役割—アジアを結ぶリングア・フランカ」『龍谷大学経済学論集 (民際学特集)』第 46 巻第 5 号, 龍谷大学経済学会, 2007 年 3 月, 207-223 頁。
- 李洙任「Naturalization in Japan」『社会科学研究年報』第 36 号, 龍谷大学社会科学研究所, 2006 年 5

月, 40-50 頁。

- Han, H., & Lee, S. (2006). Fostering Korean and Japanese EFL Learners' Cross-Cultural Understanding via Online Communication, *Modern Studies in English Language & Literature*, Volume 50, Number 4, The Modern English Society of Korea, pp.273-304.
- Lee, S., Yoshizawa, K., & Shimabayashi, S. 「The Content Analysis of the TOEIC and its Relevancy to Language Curricula in EFL Contexts in Japan」『日本言語テスト学会研究紀要』第 9 号, 日本言語テスト学会, 2006 年 9 月, 154-173 頁。
- 李洙任「教学におけるハードウェアとソフトウェア・未来を見据える視点から (3)」『龍谷紀要』龍谷大学紀要編集会, 第 24 巻第 1 号, 2002 年 3 月, 87-103 頁。
- 李洙任「韓国系日本人としてのアイデンティティ」『同和問題研究資料 高瀬川を歩くⅡ－東九条と在日コリア人』龍谷大学同和問題研究委員会, 2002 年 3 月, 60-69 頁。
- Lee, S. Affective factors in language acquisition; a case of Japanese context『龍谷大学経営学論集』第 40 巻第 2 号, 龍谷大学経営学会, 2000 年 8 月, 176-189 頁。
- Lee, S. New challenges in the English program at Ryukoku University, Fukakusa campus; English education and teaching reform on organizational and individual levels『英語英文学論叢』第 19 号, 龍谷大学英語英文研究会, 2000 年 3 月, 21-32 頁。
- 李洙任「大学の英語教育におけるアカウンタビリティと教員の意識改革－未来を見据える視点から (2)」『龍谷紀要』第 21 巻第 2 号, 龍谷大学龍谷紀要編集会, 2000 年 3 月, 75-90 頁。
- 李洙任「変わりつつある在日韓国・朝鮮人のエスニック・アイデンティティ」『大阪女学院短期大学紀要』第 29 号, 大阪女学院短期大学, 2000 年 3 月, 43-58 頁。
- Lee, S. Legitimacy of CALL in ELT, Lewis, Paul (編) *Calling Asia*, The Japan Association for Language Teaching (JALT), 1999 年 5 月, 53-157 頁。
- Lee, S. Implementing Cooperative Learning at a Language School, Kluge, David, McGuire, Steve, Johnson, David & Johnson, Roger (編), *Cooperative Learning*, 1999 年 3 月, pp.67-79.
- 平井明代・李洙任「短い発話'UN,' HU::N,'SO'にみられる日本人英語学習者のコミュニケーション・ストラテジー」『大阪女学院短期大学紀要』第 28 号, 大阪女学院短期大学, 1-16 頁。
- 李洙任「学習者の英語力と意識構造における因果関係：未来を見据える視点から」『龍谷紀要』第 20 巻第 1 号, 龍谷大学龍谷紀要編集会, 1998 年 8 月, 59-75 頁。
- Lee, S. A study on Japanese students' communication strategies in an oral test『英語英文学論叢』第 17 号, 龍谷大学英語英文学研究会, 1998 年 4 月, 35-61 頁。
- 李洙任「英作文における採点者間の評価基準の違いとその要因」『大阪女学院短期大学紀要』第 27 号, 大阪女学院短期大学, 1998 年 3 月, 27-51 頁。
- Lee, S. A study of Inter-rater Reliability in an in-house Oral Proficiency Test『大阪女学院短期大学紀要』第 26 号, 大阪女学院短期大学, 1997 年 3 月, 39-54 頁。
- Lee, S. The effects of the Team-Teaching Method on English proficiency and communication apprehension of Japanese university students『龍谷紀要』第 18 巻第 2 号, 龍谷大学龍谷紀要編集会, 1997 年 3 月, 129-145 頁。
- Lee, S. The necessity of a pre-academic program in Japan『大阪女学院短期大学紀要』第 21 号, 大阪女学院短期大学, 1990 年 12 月, 39-54 頁。
- Lee, S. The effectiveness of team teaching methods in utilizing Japanese native-speaking instructions『大阪女学院短期大学紀要』第 20 号, 大阪女学院短期大学, 1989 年 12 月, 49-63 頁。

龍谷大学大学院経営学研究科付置機関・京都産業学センター

プロジェクト紹介・論説

- 李洙任「京都のコリアンタウン東九条地域と活性化される地域経済」『京都産業学研究』, 第 19 号 2021 年 3 月, 145-156 頁。
- 李洙任「外国人観光客と京都の民泊事情」・『京都産業学研究』第 18 号 2020 年 3 月, 12-131 頁。
- 李洙任「外国人観光客と京都の民泊事情」『京都産業学研究』第 17 号 2019 年 3 月, 119-122 頁。
- 李洙任・角岡賢一・田中峰子「京都の伝統産業と外国人観光客：重層化された文化発信（最終報告）『京都産業学研究』第 16 号 2018 年 3 月, 79-87 頁。
- 李洙任・角岡賢一・田中峰子「京都の伝統産業と観光：重層化された文化発信－花見通りは今や北京通りと呼ばれるくらいに－」, 『京都産業学研究』第 15 号 2017 年 3 月, 151-159 頁。
- 李洙任・角岡賢一・田中峰子「京都の伝統産業と観光：重層化された文化発信」, 『京都産業学研究』第 14 号 2016 年 3 月, 139-146 頁。
- 李洙任・角岡賢一「西陣ブランドの構築と女性による家業経営－くらしの美術館 株式会社富田屋」『京都産業学研究』第 13 号 2015 年 3 月, 135-145 頁。
- 李洙任・角岡賢一「株式会社富田屋」『京都産業学研究』第 12 号 2014 年 3 月, 111-116 頁。
- 李洙任・角岡賢一「伝統産業の継承と革新に向けて：株式会社富田屋」『京都産業学研究』第 11 号 2013 年 3 月, 115-117 頁。
- 李洙任・角岡賢一「異文化経営学の視点から見る MK タクシーの経営戦略」, 『京都産業学研究』第 10 号 2012 年 3 月, 143-146 頁。
- 李洙任・角岡賢一「商売に国境はない！タクシー業界の革命を起こした——MK タクシーの CSR (Corporate Social Responsibility) 推進力」『京都産業学研究』・京都産業学研究 第 9 号 2011 年 3 月, 127-130 頁。
- 李洙任・角岡賢一「タクシー業界の異端児・MK タクシーの戦略：異文化経営学の視点から第 29 回 京都産業学研究会, 講演記録 (2010 年 12 月 22 日), 2012 年 3 月, 『京都産業学研究』第 10 号, 45-58 頁。
- 李洙任「京都の中国人観光客誘致戦略」『京都産業学研究』第 7 号 2009 年 3 月, 98-112 頁。
- 李洙任「京都の伝統産業に携わった朝鮮人移民の労働観」『京都産業学研究』, 第 6 号 2008 年 3 月, 113-130 頁。
- 李洙任「京都西陣と朝鮮人移民」『京都産業学研究』第 5 号 2007 年 3 月, 51-74 頁。
- 李洙任「在日韓国・朝鮮商工人の生存戦略と日本人との競合－エムケイグループ・青木定雄氏の事例」〈京都産業学センター開設 3 周年記念シンポジウム〉『京都産業学研究』第 4 号 2006 年 3 月, 104-125 頁。
- 李洙任「在日韓商 (Korean entrepreneurs) の起業家精神」『京都産業学研究』第 3 号 2005 年 3 月, 32-57 頁。
- 李洙任「「Hareven. The Silk Weaver of Kyoto」についての文献解題」〈文献紹介〉, 『京都産業学研究』第 2 号 2004 年 3 月, 93-95 頁。

その他

〈Conference Proceedings〉

- Lee, S. (2014). Managing “diversity” in the workplace: The inclusion of foreign workers in Japanese companies, *International Federation of Scholarly Associations of Management (IFSAM) 2014, World*

Congress in Tokyo, Conference Proceedings (CD-ROM), T 10.

〈翻訳〉

Lee, S. (2021) The Social Incorporation of the Former Japanese Colonial Migrants and Their Descendants as Korean Japanese: The Dawn of Japan's Immigration Policy, 李洙任『奪われた在日コリアンの日本国籍——日本の移民政策を考える』明石書店, 第10章『社会科学研究年報』龍谷大学社会科学研究所, 2021年5月, 195-208頁。

〈報告書〉

〈Book Review〉

Soo im Lee, *Immigration and Citizenship in Japan*, by Erin Aeran Chung. Cambridge, UK: Cambridge University Press, 2010, *Social Science Japan Journal*, Volume 14, Number 1, Winter 2011, pp.108-111 (4).

〈国内外招聘講演・研修〉(2006年以降)

李洙任「日本社会における外国籍住民」松蔭中学校・高等学校, 人権研修会, 2021年8月30日。

李洙任「日本の帰化制度&重国籍を視野に入れた日本がとるべき移民政策」, アジェンダ・プロジェクト京都, 2021年7月4日。

李洙任, 龍谷大学名誉教授

李洙任「在日同胞の国籍問題—特別永住者はこれからどうなるか?」在日本大韓民国民団大阪府本部 監査機関研修, 2020年11月7日。

李洙任「龍谷大学所蔵の安重根の遺墨と越境的対話—東洋平和論の21世紀的再評価」「安重根の東洋平和論の再照明——日中韓における共同体構想の歴史的変遷」東北亜歴史財団, ソウル, 韓国, 2019年10月24日。

Lee, S. Japan's Cultural Nationalism vs English Hegemony, Cross-cultural Communication: Opportunities and Challenges (Roundtable organized by Mae-Ran Park & Joo-Kyung Park), The Third AILA East Asia and 2016 ALAK-GETA Joint International Conference, "ELT and Applied Linguistics in a Globalizing Asia: Opportunities and Challenges", Honam University, Gwangju, Korea, 2016年9月10日。

李洙任「多様性の重視と共生的経営の実現に向けて」日経 HP セミナー「採用と受入後の実態から考える外国人採用のあり方について」メルバルク京都, 2016年2月5日。

李洙任「日本の外国籍住民の施策について」, 私学活性化勉強会(第8回), 日本私立学校振興・共済事業団(招聘講演), 日本私立学校振興・共済事業団, 2016年1月28日。

李洙任「望ましい韓日関係と在日同胞社会の未来像」在日本大韓民国民団大阪府地方本部・韓日国交正常化50周年記念連続シンポジウム, 在日本大韓民団大阪府地方本部, 2015年12月6日。

李洙任「在日オールドカマー」JICA 横浜・公開講座「日本人と海外移住」第11回講座(招聘講座), JICA 横浜, 2015年12月5日。

Lee, S. Managing "diversity" in the workplace; the inclusion of foreign workers in Japanese companies, School of Humanities and Sciences, Division of Sociology, in collaboration with Centre of Modern Languages (the Japanese Program) and Chinese Heritage Centre, Nanyang Technology University, Singapore, 2015年3月13日。

- Lee, S. Prospects of Achieving Ahn Jung-geun's Vision of Peace and Stability in East Asia Grassroots Regionalization and the Frontiers of the Humanities in East Asia : Korea as a Hub International Conference, Australian National University, 2015 年 3 月 10 日。
- Lee, S. The Economic Survival of Koreans in Japan, The Greater N.Y. Federation of Alumni Association of Korean Universities, Sep. 18, 2009.
- Lee, S. The Present Situations of Koreans in Japan, the Open House (Korean Village) in the Flushing Korean community, NY, USA, Sep. 17, 2009.
- Lee, S. The Changing Identity of Koreans in Japan, The Center for Research on Overseas Koreans, Queens College, The City University of New York, Sep. 17, 2009.
- Lee, S. How to empower non -native English teachers, The First Korea English Teachers Associations Joint Conference & 2007 ETAK International Conference, Kongju National University, Korea, Sep. 8, 2007.
- 李洙任 Japan Diversity Dilemmas, Ethnicity, Citizenship, Education, 九州大学 法学研究院 (留学生対象), 2008 年 7 月 18 日。
- 李洙任「グローバル時代の日本社会と国籍 - コリアン・ジャパニーズとして生きる」九州大学 韓国研究センター 第 41 回定例研究会, 2008 年 7 月 17 日
- Lee, S. The Underlying Myths, Beliefs and Calculations Reflected In the Naturalization Policy in Japan, Migration in East Asia : Case studies from Japan, China and Taiwan, Waseda University Doctoral Student Network, June 20, 2008.
- Lee, S. How to empower non -native English teachers. The First Korea English Teachers Associations Joint Conference & 2007 ETAK International Conference, Kongju National University, Korea, Sep. 8, 2007.
- Lee, S. Koreans in Japan : Ethnicity, Citizenship and Education, Koreans in Japan : Ethnicity, Citizenship and Education, The Korean Society, NY, USA, March 22, 2007.
- Lee, S. Japan Diversity Dilemmas, Ethnicity, Citizenship, Education, California State University at Dominguez Hills, Asian Pacific Studies Program, LA, USA, April 3, 2006.

主要な国内外学会報告

- Lee, S. Prospects of Achieving Ahn Jung-geun's Vision of Peace and Stability in East Asia, (Visualizing Contested Memories of Wars and Desire for Peace in East Asia, Panel organized by Tomoe Otsuki) The AAS in Asia, 2020, IAFOR-The International Academic Forum, September 3, 2020.
- Soo im Lee, Chisato Straumann Morohashi & Michiko Tomioka, Japan is not homogeneous : An introduction to diversity awareness issues in Japan (Workshop), 2018 SIETAR Japan World Congress, August 9, 2018.
- Lee, S. 日韓ワークショップ開催 The first Global History Workshop : The emergence of modern nations and the desire for peace in Asia, 安重根祈念館, 韓国ソウル, 2017 年 7 月 31 日 - 8 月 1 日。
- Lee, S. Myths, Beliefs, and Implications of Japan's Naturalization Policy, Association for Asian Studies Conference, Association for Asian Studies for Asian Studies (国際学会), Washington State Convention Center, April 2, 2016.
- Lisa Rogers & Lee, S. Diversity and Leadership : Relations between Uncertainty and Avoidance and Diversity Management in Japan, 2016 年異文化コミュニケーション学会第 31 回年次大会 (SEITAR), 名古屋外国語大学, 2016 年 9 月 17 日。
- Lee, S. Challenges faced by LGBT persons in Japan ワークショップ : Innovative ways of Incorporating

- Diversity Awareness in the Classroom, LiDi, SIG, 2016 年異文化コミュニケーション学会第 31 回年次大会 (SEITAR), 名古屋外国語大学, 2016 年 9 月 17 日。
- 李洙任, 中川慎二「ヘイトスピーチの法的規制に向けてー日本, アメリカ, ドイツにおける実態把握の現状」多文化関係学会第 14 回年次大会, 2015 年 11 月 14 日。
- Lee, S. Diversity Issues in Pre-war and Post-war Japan: Demands for Acceptance of Responsibility, 2015 SIETAR Japan Year 30th Annual Conference, September 19, 2015.
- Lee, S. War memories and national borders, The 5th Bi-Annual International Conference of the Japanese Studies Association of South Asia (JSA-ASEAN) 招聘講演 (国際学会), Plenary speaker, Cebu, The Philippines, Dec. 15, 2015.
- Lee, S. Pride, Prejudice and Power: Nationalism, Anti-Korean Hate Crimes and the Comfort Women Issue in Japan, Part I, The 18th International Association of Democratic Lawyers (IADL) 大会, The Netherlands, April 16, 2014.
- Lee, S. Pride, Prejudice and Power: Nationalism, Anti-Korean Hate Crimes and the Comfort Women Issue in Japan, Part II, The 18th International Association of Democratic Lawyers (IADL) 大会, The Netherlands, April 17, 2014.
- 李洙任「国際民主法律家協会第 18 回大会参加とアウシュビッツ訪問報告」龍谷大学社会科学研究所 附属安重根東洋平和研究センター, 2014 年 4 月 27 日。
- Lee, S. Diversity of *Zainichi* Koreans and their ties to Japan and Korea, 2012 International Conference on Japanese Studies, Ateneo De Manila University Manila, Philippines, Jan. 27, 2012.
- Lee, S. *Zainichi* Koreans and their Traditional Ties to Japan and Korea, Boğaziçi University-Ryukoku University Afrasian Research Center First International Workshop, Boğaziçi University, Turkey, March, 3, 2012.
- 李洙任「日本の大学における e ラーニングの普及を妨げる要因」, 外国語教育メディア学会 (LET) 関西支部 2011 年度春季研究大会, 同志社大学, 山田博之と共同報告, 2011 年 5 月 14 日。
- Lee, S. Japanese learners' underlying beliefs affecting foreign language acquisition: Desirable motivation and desired motivation, The 9th Asia TEFL International Conference, Hotel Seoul KyoYuk MunHwa HoeKwan, Seoul, Korea, July 21, 2011.
- Lee, S. Facilitating for a More Healthy Society: Introducing Practical Ways to Encourage Acceptance of Diversity, Kim Margaret, Tomioka Michiko, Rogers Lisa らと共同発表, 2011 年度異文化コミュニケーション学会第 26 回年次大会, 兵庫県立大学, 2011 年 10 月 30 日。
- Lee, S. The Transnational Ties of Resident Koreans in Japan to Their Homeland: form the Past to the Present, The Research Center for Koreans community, Queens college, CUNY, USA, Oct. 7 2010.
- 李洙任「日本の移民政策と帰化制度」世界人権問題センター, 2010 年 5 月 15 日。
- 李洙任「グローバル時代の国籍の在り方」多文化共生的視点による美意識の研究会, 常葉学園大学, 2010 年 2 月 15 日。
- Lee, S. Beyond Ethnicity and Nationality? Diversity and Culture in Koreans Schools in Japan Cultural Survival, The Tanba Manganese Memorial Museum, The 19th Japan Anthropology Workshop Conference, Multicultural Japan, Doshisha University, Willis, D. B. と共同報告, April 26, 2009.
- Lee, S. The Changing Ethnic Identity of Koreans in Japan, The Center for Research on Overseas Koreans, Queens College, The City University of New York, USA, Sep. 17, 2009.
- Lee, S. The Present Situations of Koreans in Japan, The Greater N.Y, Federation of Alumni Association of

Korean Universities, Flushing Korean Community, Sep. 18, 2009.

- Lee, S. Japan's New Policy toward Foreign Residents : Further Control or Coexistence?, Anthropology of Japan in Japan (AJJ) Annual Fall conference, Temple University's Japan Campus in Tokyo, Nov. 7, 2009.
- Lee, S. Beyond the Division between the Two Korea : The Emergence of the Korea International School in Japan, Comparative and International Education Society, 52nd Annual Conference, Columbia University, NY, Panel Discussion, "Global Schools, International Schools : Lessons from Transnational/Transcultural Learning Environments, David Blake Willis (Panel Chair), Sylvester, Bob, Thompson, Jeff, Hayden, Mary, Savvides, Nicola, Lee, Soo im & Allan, Michael, March 19, 2008.
- Lee, S. Underlying Myths, Beliefs, and Calculations reflected in Japanese Naturalization Policy, The Twelfth Asian Studies Conference Japan (ASCJ), Rikkyo University, Panel Discussion, Transnational Japan : Artifacts of Identity and Contested Spaces of Inclusion/Exclusion, Chapman, David (Panel Chair), Nagy, Stephen Robert, Willis, David Blake, Lee, Soo im & Roberts, Glenda, June 22, 2008.
- Lee, S. Underlying Myths, Beliefs, and Calculations reflected in Japanese Naturalization Policy, Migration in East Asia : Case studies from Japan, China and Taiwan, 早稲田大学, Willis, D. B. と共同報告, June 20, 2008.
- 李洙任 & Willis, David Blake. 「Economic Survival of Koreans in Japan」 ソウル大学校日本研究所日本専門家ワークショップ, ソウル大学, 2008 年 12 月 6 日。
- 李洙任 「The Role of Language Testing in Curriculum Reform」 「カリキュラムの変革における言語テストの役割」 シンポジウム, 小泉利恵, 堀内香予子, 片桐一彦, 興水以久子 (共同報告), The Eleventh Annual Conference of the Japan Language Testing Association (JLTA), 2007 年 10 月 28 日。
- 李洙任 「日本人とは誰を指すのか? 国籍に関する諸問題」 多文化関係学会, 2007 第 6 回年次大会, 兵庫県立大学, 2007 年 10 月 27 日。
- Lee, S. The new role of English : Lingua Franca in Asia, The First Conference of English Teachers Associations Joint Conference & 2007 ETAK, Kongju, Korea, Sep. 8, 2007.
- Lee, S. Starting to Swim in the Open Seas : Direct communication in English and its effects on the reconciliation between Japan and Korea, The 2006 Asia TEFL International Conference, Seinan Gakuin University, Fukuoka, Japan, Han, Haeyoung と共同報告, Aug. 19, 2006.
- Lee, S. The TOEIC Test—Spreading The Global Standard for English Testing, The 2006 Asia TEFL International Conference, Seinan Gakuin University, Fukuoka, Japan, Yoshizawa Kiyomi と共同報告, April 18, 2006.
- Lee, S. The Power relationship between non-native and native English teachers, California Teachers of English to Speakers of Other Languages (CATESOL) 2004, Santa Clara, Nov. 13, 2003.
- Lee, S. Promoting Cross-Cultural Understanding Via Online Communication in EFL Contexts, The 13th World Congress of Applied Linguistics, Singapore, Han, Haeyoung と共同報告, Dec. 20, 2002.
- Lee, S. Redefining motivation and language anxiety : an empirical validation of psycho-educational model in an EFL context, Texas Foreign Language Education Conference, Texas, March 24, 2001.
- Lee, S. The Power relationships between native speakers and Japanese teachers of English in Japan, 34th Annual Convention and Exposition, Teachers of English to Speakers of Other Languages (TESOL) 2000, Vancouver, British Columbia. Liu, Jun, Medgyes, Peter, Canagarajah, Suresh, Braine, George, Lee, Soo

im, Hansen, Jette (共同報告者) Panel Theme “Research on NNSs in TESOL, Dialogues between NSs and NNSs in TESOL”, March 17, 2000.

Lee, S. Integrating the awareness of genuine internationalization in English curriculum; A perspective of minority groups in Japan (Power relation between Japanese majority and Korean minority, and Korean youth's acculturation pattern), AILA 1999, 12th World Congress of Applied Linguistics, Tokyo, Aug. 2, 1999.

李洙任「日本におけるアジアの少数民族」第24回 SEITAR 国際大会, 麗澤大学, LiDi Workshop 共同報告, 1998年11月20日。

Lee, S. The Effects of a CALL workshop on the perceptions of Japanese EFL teachers of writing, Writing the Future, University of Brighton, UK, Sep. 18, 1998.

Lee, S. Is silence still golden? A study on Japanese students' responses in an in house oral test, 第37回大学英語教育学会 (JACET) 全国大会, 就実女子大学, 1998年9月1日。

李洙任「日本政府の在日朝鮮人処遇政策の考察」, 日本移民学会 第8回年次大会, 龍谷大学, 1998年7月1日。

Lee, S. The Effects of a CALL workshop on the perceptions of Japanese EFL teachers of writing, Writing the Future, University of Brighton, UK, Sep. 18, 1997.

Lee, S. How does the background of the raters affect their assessment of EFL writing composition?, 大学英語教育学会 (JACET) 関西支部春季大会, 流通科学大学, 1997年5月31日。

龍谷大学 学修支援・教育開発センターにおける研究一覧

龍谷 ICT 教育賞

- ・李洙任「学習者が「学び」に対して責任を担う教育環境——Team Based Learning (TBL) と ICT の活用事例——」(学修支援・教育開発センター長賞), 『2020年度 龍谷 ICT 教育賞報告書』(2021年3月発行), 77-82頁。

2020年度

- ・李洙任(研究代表者), 奥野恒久・中田裕子(共同研究者)「学習者が学習に対して責任を担うための補助教材——Team Based Learning と ICT の推進に向けて——」, 『2019年度 自己応募研究プロジェクト報告書』第22号(2021年12月発行), 13-20頁。

2019年度

- ・李洙任「Moodle 機能を使つてのチーム基盤型学習 (Team Based Learning/TBL) ——学生の主体性をどこまで高めることができるか——」『2019年度 自己応募研究プロジェクト・指定研究プロジェクト報告書』第22号(2020年12月発行), 13-20頁。

2018年度

- ・李洙任「Moodle 機能を使つてのチーム基盤型学習 (Team Based Learning/TBL) -応用編-」, 『2018年度 自己応募研究プロジェクト報告書』第21号(2019年9月発行), 13-38頁。

2017年度

- ・李洙任(研究代表者), 重本直利(共同研究者)「Moodle 機能を使つてのチーム基盤型学習 (Team Based Learning/TBL)」, 『2017年度 自己応募研究プロジェクト報告書』第20号(2018年10月発行), 29-38頁。

2011年度

- ・李洙任(研究代表者), 寺島和夫, 他(共同研究者)「「本学での e-ラーニングの普及と革新」Part

Ⅱ：e-ラーニングの普及を妨げる要因」,『2011年度 自己応募研究プロジェクト報告書』第14号(2012年6月発行), 33-36頁。

2010年度

- ・李洙任(研究代表者), 樋口三郎, 他(共同研究者)「本学でのeラーニングの普及と革新「FD本来の目的である個々の努力を集団の営みに変えるには」“Finding opportunities to reduce waste and eliminate low-performing investments”」,『FD・教材等研究開発報告書』第13号(2011年6月発行), 77-86頁。

2008年度

- ・李洙任「Moodle を使用しての教育活動の質的向上」,『FD・教材等研究開発報告書』第11号(2009年4月発行), 129-142頁。

2007年度

- ・李洙任「IRT(項目応答モデル)に基づくテスト作成 テストにおける公平性の追求」,『FD・教材等研究開発報告書』第10号(2008年6月発行), 98-108頁。

2006年度

- ・李洙任「言語テストの構成概念的妥当性の考察」,『FD・教材等研究開発報告書』第9号(2007年3月発行), 130-140頁。

2003年度

- ・福本幸之(研究代表者), 李洙任, 他(共同研究者)「英語における共通テストの開発とその結果分析に基づく教授法の構築」,『FD・教材等研究開発報告書』第6号(2004年3月発行), 138-143頁。

2002年度

- ・村田和代(研究代表者), 李洙任, 他(共同研究者)「英語共通テストの充実と開発をめざして」,『FD・教材等研究開発報告書』第5号(2003年3月発行), 41-50頁。

2001年度

- ・島田守(研究代表者), 李洙任, 他(共同研究者)「英語新カリキュラムにおけるプログラム評価：理想的な教員像を求めて」(京都学舎共通科目),『FD・教材等研究開発報告書』第4号(2002年3月発行), 197-216頁。
- ・李洙任(研究代表者)「学習を促す Facilitator(世話役)」「作業の提供場所」「作業をする足場」としての教員・学校・メディアの新しい役割の考察」(国際関係コース),『FD・教材等研究開発報告書』第4号(2002年3月発行), 227-236頁。

2000年度

- ・大石正晴(研究代表者), 李洙任(共同研究者)他「英語プログラムにおける検証テストの継続開発研究」(京都学舎共通科目),『FD・教材等研究開発報告書』第3号(2001年3月発行), 179-190頁。
- ・李洙任(研究代表者)「オンライン・コミュニケーションによる異文化理解の試み パート2」(国際関係コース),『FD・教材等研究開発報告書』第3号(2001年3月発行), 191-201頁。

1999年度

- ・李洙任(研究代表者)「オンライン・コミュニケーションによる異文化理解の試み -Duisburg University との交流-」(国際関係コース),『FD・教材等研究開発報告書』第2号(2000年3月発行), 174-183頁。

1998 年度

- ・角岡賢一（研究代表者）、李洙任（共同研究者）他「英語教育における CALL 活用」、『FD・教材等研究開発報告書』第1号（1999年3月発行）、1-5頁。
- ・李洙任（研究代表者）「ニーズアナラシスに見られる学生像と英語力の構造」、『FD・教材等研究開発報告書』第1号（1999年3月発行）、107-116頁。

辞書、雑誌、電子書籍

龍谷大学経営学部李洙任基礎演習・ゼミナール（著）、李洙任（編集）『大学生が見た新型コロナウイルス～パンデミックから私たちは何を学ぶのか～ボトムアップのダイバーシティ・マネジメント』Kindle版、2020年12月2日。

龍谷大学経営学部李洙任基礎演習・ゼミナール（著）、李洙任（編集）『無意識の差別からの脱皮：ボトムアップのダイバーシティ・マネジメント』Kindle版、2019年12月25日。

李洙任『アジアの未来を考える 大学生の自主性を育む Team Based Learning (TBL)』Kindle版、2019年5月12日。

龍谷大学経営学部李洙任基礎演習・ゼミナール（著）、李洙任（編集）『自分に自信がない若者たちに向けてーボトムアップのダイバーシティ・マネジメント』Kindle版、2018年9月28日。

李洙任「イラン・トルコの英語教育事情から学ぶ日本の英語教育への提言」、『英語展望』118号、2010年、31-36頁。

『在日コリアン辞典』国際高麗学会日本支部「在日コリアン辞典」編集委員会（編）、朴一編集委員会代表、明石書店、2010年11月、83-84（田中宏と共同執筆）、118、264、268-269頁。

新聞記事等の社会的発信

新聞記事

「日韓関係をソフト面から考えるシンポ」『朝日新聞』2022年2月15日。

「外国籍 街の未来書けない 人として認める気ないかのよう」『朝日新聞』2021年10月16日。

「交流・協力し合う日韓関係を」『京都新聞』2019年11月22日。

「安重根獄中の遺墨「日韓史考えるきっかけに」」、『京都新聞』（夕刊）8面、2015年11月16日。

「音声で情報発信、多文化共生へ 大阪市がHP開設」『毎日新聞』2010年1月18日。

「国籍とはすぐれて人為的なものー文化的アイデンティティの重層化」Asia Leadership Fellow Program (ALFP). e-magazine, Issue 4, 2019年4月18日。

「100年の眠りから覚めた安重根の遺墨と『東洋平和論』（公財）世界人権問題研究センター『Globe』No.91, 2017年秋、12-13頁。

「外国人処遇施策から移民政策へ」（公財）世界人権問題研究センター『Globe』No.59, 2009年秋、14-15頁。

「最も近くて遠い国、韓国とソフトパワーの威力」外国語教育メディア学会（LET）：The Treasure Hunt Club, 2006年2月10日。

自治体広報紙

「ソフトパワーで他国の理解を深めましょう」『にしなり我が町』西成区人権コラム、2022年2月1日。

「住民投票権を与えられなかった外国籍住民を思う」『にしなり我が町』西成区人権コラム、2021年

2月1日。

「日本経済を支える外国人労働者たちに目を向けて」『にしなり我が町』西成区人権コラム, 2020年2月1日。

「外国人労働者の受け入れ」に対し私たちに問われていること」『にしなり我が町』西成区人権コラム, 2019年2月1日。

「大阪と韓国とのゆかりが韓国人観光客を魅了する」『にしなり我が町』西成区人権コラム, 2018年2月1日。

「西成へいらっしゃいー外国人観光客数の急増」『にしなり我が町』西成区人権コラム, 2016年2月1日。

「日本における韓国・朝鮮籍の人たちの歴史的背景」『にしなり我が町』西成区人権コラム, 2015年11月1日。

「日韓の市民交流を絶えさせないためには」『にしなり我が町』西成区人権コラム, 2015年10月23日。

「ヘイトスピーチの本質は？」『にしなり我が町』西成区人権コラム, 2014年11月1日。